

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和元年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州観光コンベンション協会
-----	-----------------------

所管課	産業経済局 MICE推進課
-----	---------------

団体に対するミッション
内外の工業製品等の展示紹介を通じて西日本地域の産業の高度化と貿易の振興、北九州市における観光事業の健全な振興に資するとともに、コンベンションの誘致、支援等を通じて地域の活性化及び文化の向上に資することにより、本市の経済政策を支援し、にぎわいと活力あふれるまちづくりに貢献する。

行財政改革大綱における見直し内容
<p>今後、策定を予定している、観光振興の柱となる新たなプランに基づき、コンベンションをはじめとしたMICE（※）事業の強化に取り組む。</p> <p>また、より効果的・効率的な誘致・集客体制を図るため、観光関連団体等との連携や統合も視野に入れた機能強化について検討する。</p> <p>※MICE…企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際会議や全国規模の大会、学会等（Convention）、展示会・見本市、様々なイベント（Event/Exhibition）の頭文字をとった用語で、多くの集客・交流が見込めるものを言う。</p>

ミッションに基づく中期計画								
3～5年後に目指す状態	MICE開催拠点である小倉駅新幹線口国際コンベンションゾーンを一体的に運用し、積極的にMICEを推進することにより、産業振興・国際化の推進・にぎわいづくりに貢献する。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
3施設の来場者数	102万人	91万人	107万人	88万人	96万人	91万人	96万人	96万人

ミッションの遂行状況の評価（令和元年度）			
団体における評価	学会・大会の誘致に積極的に取り組み、日本政府観光局発表の「2018年国際会議開催件数」では8位となり、前年同様の好成績となった。令和2年2・3月は新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用の大幅減が生じ、来場者数など一部の指標で目標未達となったが、感染症拡大以前の好調により若干の未達に留め、誘致件数などは目標を達成した。主催事業においても国・県・市など関係団体との連携により効果的な事業促進に努めた。このような取り組みにより、にぎわいや活力あるまちづくりに貢献した。	市の評価	成果指標において目標値を下回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも来場者数は昨年実績を上回ったこと、日本政府観光局発表の国際会議開催件数において2年連続最高順位となる好成績を得たことなどから、にぎわいや活力あるまちづくりに貢献したと評価する。
	今後の課題及び見直し内容（案）		新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明な中、施設利用の低迷が続いている。健全経営を維持し、ミッションを遂行するため、施設の感染拡大防止対策を徹底し利用促進を図るほか、新たな収益策の検討などに取り組む。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	—
団体の機能強化、拡充を図り、北九州市のMICEおよび観光振興をより一層推進するため、平成29年4月に西日本産業貿易コンベンション協会と北九州市観光協会が合併し、北九州観光コンベンション協会が発足した。	